

【2020年度私大医学部一般入試－例外的な入試形態をとる大学】

私大医学部一般入試では、1次試験で「英語、数学（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B）、理科（物理・化学・生物から2科目選択）」、2次試験として「小論文、面接」（適性検査が含まれるケースもある）が課せられる形が一般的だが、その内容とは異なる大学もある。以下にその主要な情報を記載する。

① 小論文・面接・適性検査を除くと3科目以下で受験できる大学

	試験科目	
帝京大	1次	英語、数学・物理・化学・生物・国語⇒② ※国語は問題選択制で、古文・漢文を選択せずに現代文だけで受験することも可能
	2次	課題作文、面接
東海大	1次	英語、数学、物理・化学・生物⇒①
	2次	小論文、面接
金沢医大(後期)	1次	英語、数学
	2次	小論文、面接

<注釈>

- ◆「英語、数学・物理・化学・生物・国語⇒②」→「英語が必須、その他、数学・物理・化学・生物・国語から2科目選択」であることを表す。以下もこの方式に準ずる。

② 数学の出題範囲が「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B」ではない大学

	出題範囲
帝京大、金沢医大(後期)、近畿大(前・後期)	Ⅰ・Ⅱ・A・B

※①に記載の通り、帝京大は数学自体が選択科目の一つとされている。

③ 小論文等が1次で課せられる大学

岩手医大、埼玉医大(前・後期)、国際医療福祉大、順天堂大(一般A)、東京女子医大、東邦大、関西医大、兵庫医大(一般A)、川崎医大

<注釈>

- ◆埼玉医大(前・後期)以外は、すべて2次選抜時にその評価が使用される。
- ◆埼玉医大→「小論文(基礎学力試験)」と表示され、内容は国語(現代文)の試験である。
- ◆東京女子医大→「適性・小論文試験」として課せられる。
- ◆東邦大→「基礎学力」と表示され、内容は論理的思考能力や数理解析能力等を問う能力適性検査である。

(次ページに続く)

③ 傾斜配点をとる大学（英語・数学・理科の配点が均等ではない大学）、および英語・数学・理科以外に配点を定めている大学

	配点				
	英語	数学	理科①	理科②	小論文・面接等
岩手医大	100	100	100	100	小論文(段階), 面接 50
埼玉医大(前・後期)	150	100	100	100	小論文 50, 面接(-)
国際医療福祉大	200	150	100	100	小論文(段階), 面接(段階)
杏林大	100	100	75	75	小論文(-), 面接(-)
慶應義塾大	150	150	100	100	小論文(-), 面接(-)
順天堂大(一般A)	200	100	100	100	小論文(-), 面接(-)
東京医大	100	100	100	100	小論文 60, 面接 40
東邦大	150	100	75	75	基礎学力(-), 面接(-)
日本医大(前・後期)	300	300	200	200	小論文(-), 面接(-)
北里大	150	150	100	100	小論文(-), 面接(-)
聖マリアンナ医大	100	100	100	100	適性検査(-), 小論文 50, 面接 150
金沢医大(前期)	100	100	75	75	小論文 60, 面接(重視)
金沢医大(後期)	100	100	-	-	小論文 60, 面接(重視)
愛知医大	150	150	100	100	小論文(段階), 面接(段階)
藤田医大(前・後期)	200	200	100	100	面接 100
兵庫医大(一般A)	150	150	100	100	小論文 50, 面接・調査書 100
川崎医大	100	100	75	75	小論文(-), 面接(-)
久留米大(前・後期)	100	100	100	100	小論文 50, 面接 50
福岡大	100	100	100	100	小論文(-), 面接 50

<注釈>

- ◆藤田医大(前・後期)→「面接 100」は面接と提出書類への評価を合せて 100 点であることを表す。
- ◆「(段階)」→段階評価であることを表す。
- ◆「(-)」→配点については非公表であることを表す。